

平成30年度 入札監視委員会（第3回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	平成30年12月20日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授）	梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） （敬称略：五十音順）
審議対象期間	平成30年7月1日～平成30年9月30日	
審議対象件数	59件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 7件	（審議概要）  ・ 契約状況、指名停止措置状況及び低入札価格調査等について報告  ・ 抽出案件の概要説明
建 一般競争（政府調達協定対象）	1件	
設 一般競争（政府調達協定対象外）	2件	
工 企画競争方式	0件	
事 随意契約方式	0件	
建設コンサルタント業務等	4件	
○委員からの 意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する 回答等	<p>①厚木米軍(30)雨水排水(750)整備土木工事 (一般競争入札方式(政府調達協定対象))</p> <p>工事概要に詳細図作成業務一式とあるが、雨水排水管等の全体的な詳細図を新たに作成するということか。</p> <p>詳細図作成業務は工事と平行して実施するのか。 概算金額約16億円に対し、契約金額約10億円とかなり差がある。本来、詳細図を作成しなければ概算金額の見積りは難しいと思われるが、どのように算定したのか。また、何故このような方法により発注したのか。</p>	<p>工事計画区域内の雨水排水管、雨水排水柵の詳細図を作成する業務である。</p> <p>詳細図の作成が完了した後に工事の着手となる。 概算金額は既存の資料を元に算定したので、本来の積算価格と差が生じている。積算価格は、積算に必要な概略図で算出した。また、本事案は過年度から継続して実施しており、過去の設計図面が類似図面として活用できることから、標準図等活用発注方式を適用して発注している。</p>

本件の入札方式である段階的選抜方式の一次審査とはどのようなものか。ある程度技術力の高い業者に絞り込むということか。

段階的選抜方式とは、発注者・受注者双方の事務量の負担を軽減することを目的として、WTO対象工事で競争参加者が概ね10者を超えるものを対象とし、企業の技術力等の評価により一次審査で参加者を評価点の上位10者に絞り、二次審査で技術提案を評価し契約相手方を決定する方式で、当局では今年度2件試行している。

**②浜松(30) 宿舎改修建築工事  
(一般競争入札方式(政府調達協  
定対象外))**

本件は建築工事であるにもかかわらず道路工事業者が入札に参加しており、建築工事のためか評価点も低い、仮に落札した場合でも建築工事ができる業者なのか。

建築一式工事の格付Aランクを有し、当該業者は受注実績もあり問題ない。本件の入札公告時、舗装工事に関して営業停止処分を受けていた影響もあり建築工事の入札に参加したと思われる。

概算金額が予定価格より1億7,000万円大きい、差額の理由は何か。この二つの金額から何が読み取れ、また、金額が逆転することもあり得るのか。

概算金額は細かな積算を行う前に見込むものであり、特に改修に関しては算定が難しい。予定価格は見積りを取ったり細かく積算するので、当初の概算金額と差が生じることはある。今回は改修工事なので概算との差が大きくなったと思われる。また、場合によっては概算金額より予定価格が大きくなることも考えられる。

概算金額と予定価格の差が大きいということは、見積りが容易ではない工事内容と理解すればよいか。

そうである。

この宿舎は何年築か。本件は耐震改修ではないのか。

昭和48年築であるが、耐震改修は実施せず外壁改修等である。

4階建ての壁式構造なので耐震診断でも地震に耐えられると思われるが、そのような耐震性に問題ないとする結論は調査により得られているのか。

以前の調査によって耐震性に問題はないとされている。

**③船越(30) 宿舎新設機械追加工事  
(一般競争入札方式(政府調達協  
定対象外))**

他の業者が入札に参加せず、1

本件工事は予算の関係で工事区

者応札になってしまった理由は何が考えられるか。また、落札率が99.35%と高い理由は何か。

元工事の工事内容と契約金額を教えてください。

建物付帯設備機器の費用は工事に含まれているのか。

また、機器のメーカーは数社あると思われるので、業者の選定次第でメーカーによる差がかなり出てくると思うが、仕様は決まっているのか。

**④富士(30)学校新設等建築設計  
(一般競争入札方式(政府調達協  
定対象外))**

工事と比べると設計業務は落札率が低い場合が多い。工事の場合はある程度現業的な人件費なのでそこを削減すると問題があるが、設計業務の人件費は比較的高い単価と思われ、ある程度削減しても問題のないような裁量の余地のあるものなのか。

設計業務は、技術、能力を要すると思われるので業者によって人件費にある程度幅が出てくるが、落札率が低い場合でも採算割れ前提で落札しようとしていると考える必要はないか。

分を分け、前年度に元工事を実施しており、今回は追加工事だが、施工区分が明確になるように分けているものの、やはり追加工事ということで元工事との取り合いが出てくるので、他の業者は敬遠したと想像される。

また、追加工事という性質もあり元工事を受注した業者が応札していることと、当局は積算基準もすべて公開しており、発注済工事の積算内訳書も電子入札システムで見られるので、当局の積算単価を知っているということもあり、落札率が高くなっているのではないかとと思われる。

元工事は今回施工する宿舎3棟の1階から6階までの工事で、契約金額は約5億3,000万円である。7階以上を本工事で施工する。

設備機器本体の費用も工事に含まれている。

受注者が取引のあるメーカーの機器を設置すると思われるが、当方が示す標準仕様書に合致すれば良いので、特定メーカーに限定することはできない。

技術者の人件費単価が分かっている中での競争となるので、各社が実績、経験等を踏まえて入札金額を算定していると思われる。

各社における実績、経験を踏まえて入札していると思われるので、入札金額が低いことが直ちに人件費に関して手抜きをするということにはならない。

本件は参加者が多いと見込まれ、また、標準的な事務所建の設計に

	<p>入札参加者が多いと見込まれたということは、本件のような建物の建築設計は、土木、設備の設計と比較して魅力的ということか。</p>	<p>近いので、技術者が経験があり、金額の大半である会社の経費を抑制したり、類似の設計事案の豊富なデータを活用するなどして、調査基準価格ぎりぎりまで下げて応札したものと思われる。</p> <p>本件は他の建築設計と比較して金額も面積も大きく、比較的単純な事務所建の建物ということで、業者も注目していたと思われる。土木、設備の設計とは事情が違うので一概には言えない。</p>
<p><b>⑤浜松(30)測量調査 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外))</b></p> <p>予定価格はどのように算定したのか。</p> <p>落札率が約42%だが、ここまで低くなった理由は何か。</p> <p>案件により、全国の業者が入札に参加するもの、比較的地元業者が多く参加するものもあり、本件のように、地元以外の業者が参加すること自体は競争の観点では望ましいが、地元以外の業者が極端に低い金額で落札すると地元業者に悪い影響を及ぼすようなことはないのか。</p>	<p><b>⑥横須賀米軍(30)汚水処理施設 (920)整備設計 (一般競争入札方式(政府調達協定対象外))</b></p> <p>入札・契約状況調書の評価値は技術評価点と価格評価点の合計で、そもそも足すことのできる性質の数字かどうかは分からないが、技術評価点は3者ともほとんど変わらないが、価格評価点に大</p>	<p>国土交通省の積算基準を基本にしている。</p> <p>落札者は地元業者ではないが、現在、関東をベースに社員、作業員をかなり派遣しており、業務をより多く受注し効率よく作業を集中して行えるので、費用を抑えることができたと聞いている。</p> <p>落札者は、本件以外に当局発注の測量業務を2件同時期に受注しており、効率的に業務ができる体制であったと思われる。</p> <p>本件も比較的規模の小さい測量なので地元業者が参加してくることが予想されたが、応札者6者中地元浜松市の業者は1者だけで、応札額も最も高かった。</p> <p>入札参加条件で静岡県内の業者に限定している訳ではないので、結果的に地元以外の業者が多数参加している。</p>
	<p>入札・契約状況調書の評価値は技術評価点と価格評価点の合計で、そもそも足すことのできる性質の数字かどうかは分からないが、技術評価点は3者ともほとんど変わらないが、価格評価点に大</p>	<p>価格評価点の算出方法は、満点は60点で、<math>60 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})</math>なので、入札価格0円でなければ満点はもらえないことになる。</p> <p>2番札のA社は技術評価点は落</p>

<p>きな差があり価格面で落札者が決まっているように見える。価格評価点の最高値と最低値は7点差があるが、入札金額はそれほど差がない。</p> <p>評価値＝技術評価点÷入札価格という算出方法と、本件の評価値＝技術評価点＋価格評価点との違いは何か。</p> <p>いずれにしても、入札金額が低い業者が落札するという事か。</p> <p>技術評価点で1、2点差が付くとほとんど勝負が決まっていて、入札金額を相当低くしないと逆転できない感がある。</p>	<p>札者よりわずかに高かったが、落札者がA社より入札金額が低かったため価格評価点で逆転している。</p> <p>本件は業務なので技術評価点と価格評価点の合計を評価値としているが、工事の場合は、標準点＋加算点を技術評価点とし、それを入札価格で除したものを評価値としている。</p> <p>可能性は高いが、工事、業務の規模によって1点の重みが変わってくるので一概には言えない。</p> <p>工事と違い業務の場合は、入札価格0円でなければ価格評価点が満点にならないので、逆転することは難しい。</p>
<p><b>⑦座間米軍(30)ボイラー施設(0809)設備基本検討(簡易公募型プロポーザル方式)</b></p> <p>「基本検討」とは、どのような成果物になるのか。</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式について説明願いたい。</p> <p>つまり技術提案を提出する際に競争があるということか。また、各者の提案に対して対価は支払うのか。</p> <p>工事の方針についての技術提案か。</p>	<p>通常、実施設計後に工事に入るが、実施設計の前段階で方針を決定する必要があり、その段階が基本検討になる。本件では、ボイラー施設を新設しガス配管を設置する場合、米軍の運用への影響も考慮しつつ、熱源の方式や配置、配管の経路等について、インシヤルコスト、ランニングコスト等を踏まえた最適なプランニングが成果物となる。</p> <p>技術提案の提出を求め、最も優れたものの提出者と見積合わせにより契約する方式である。</p> <p>最初の技術提案の段階で競争が生じている。 また、当該提案に対する対価は支払わない。</p> <p>基本検討業務の重点となるテーマを与え、それに対して応募者は最適の成果につながるような技術提案を提出し、当方が評価する。</p>

	<p>【その他】</p> <p>特に意見なし。</p> <p>特に意見なし。</p> <p>・ 次回の委員会は、平成31年2月26日（火）とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子入札システムを活用したアンケート調査結果の分析について（平成29年度）の説明を行った。</li> <li>物品・役務等に係る平成31年度審議対象事案の指定について報告した。</li> </ul>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。		
2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義案件	総件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	なし。	回 答
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。		
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について			
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の分析等を行った資料を委員に配布・報告。		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	なし。	回 答
	なし。		
4. 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件なし			

平成30年度 入札監視委員会（第3回）議事概要

陸上自衛隊

開催日及び場所	平成30年12月20日（木） 横浜第2合同庁舎 低層棟1階 共用第4会議室	
委員 (◎：委員長)	天 野 康 代（弁護士）                      梅 村 靖 弘（大学教授） 後 藤 由 紀 子（公認会計士） ◎細 田 孝 一（大学教授） (敬称略：五十音順)	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
審議対象件数	9,572件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数                      7件	(審議概要)  ・ 契約状況及び談合疑義案件の 処理状況について報告  ・ 抽出案件の概要説明
一般競争	7件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	①一般競争入札方式（1者応 札）（売買） 第407会計隊（武山） 「重油特種1号」  ・ 予定価格の算定はどのように しているのか。  ・ 原油の価格はかなり変動する	・ 取引の実例価格と公表されてい る価格を比較して算定している。  ・ 本調達は、通常、防衛装備庁で

○委員からの  
意見・質問

○それに対する  
回答等

と思うが、入札の時期はどのように決定しているのか。

・入札参加者はどのような業者か。

・重油の用途は何か。

・前回の入札では5者参加しているが、今回は1者応札である理由は何か。

契約しているが、同庁での契約が不調となったため、当駐屯地において契約している。そのため、当駐屯地において必要となった時期に入札を実施している。

・主要事業は一般石油製品の販売であり、全国規模で支店を持ち、入札参加資格は「A」ランクである。

・主として駐屯地のボイラーを稼働させるために使用する。

・今回は数量が大きいこととそれに伴いタンクローリーの確保が困難である旨前回の参加者から聞いている。

②一般競争入札方式（1者応札）（役務）  
第433会計隊（滝ヶ原）  
「ドラム缶整備器材の整備役務」

・ドラム缶の用途は主に軽油用か。

・ドラム缶の製造メーカーは落札者か。

・主として陸上自衛隊の車両等で使用する軽油である。

・整備器材は落札者による製造であるが、ドラム缶の製造メーカーは承知していない。



○委員からの  
意見・質問

○それに対する  
回答等

<p>・整備役務の内容はどのようなものか。また、本器材の納入業者は承知しているか。</p> <p>・整備器材は本件の落札者以外に製造しているのか。</p> <p>・ここ数年で平成28年度のみ随意契約となっているが、その理由は何か。</p>	<p>・本整備役務はドラム缶整備器材のオーバーホールである。また、納入業者は本役務の受注業者と同じである。</p> <p>・ドラム缶を整備する器材を製造している業者は落札者以外にもあると認識している。</p> <p>・整備器材を稼動しようとしたところ、故障のため整備が必要となったが、時間的猶予がなかったためである。</p>
<p><b>③一般競争入札方式（複数応札）（役務）</b> <b>第433会計隊（滝ヶ原）</b> <b>「給食業務、食器洗浄及び清掃作業の部外委託」</b></p> <p>・過去の入札も含めて複数応札ではあるものの、高落札率が継続しているが、予定価格はどのように算定しているのか。</p> <p>・今回は入札参加者が4者いるが、すべての参加者から見積りを徴取しているのか。</p> <p>・本件の落札者はここ数年落札しているが、他者より入札金額を抑えられる理由は何か。当該業者と他に締結している契約は</p>	<p>・前年の実績価格と見積りにより市場調査を行い、賃金等を考慮し総合的に算定している。</p> <p>・そうである。</p> <p>・人材確保等の基盤を整えていることが強みであると推察される。本契約以外に契約はない。</p>

○委員からの  
意見・質問

○それに対する  
回答等

<p>あるか。</p>	
<p>④一般競争入札方式（1者応札）（売買） 第433会計隊北富士派遣隊（北富士） 「平成29年度陸上自衛隊北富士駐屯地及び北富士演習場で使用する電気」</p> <p>・平成27、28年度は約款から予定価格を算定したため落札率が100%であったということであるが、平成29年度の落札率が85.4%となっている理由は何か。</p> <p>・電圧はどのくらいで、予定価格は大口電気として算定しているのか。</p>	<p>・平成29年度から電力の自由化に伴い、落札者が入札額を下げたために落札率も下がっていると認識している。</p> <p>・電圧については仕様書のとおり6,600ボルトで、予定価格は約款の高圧電力により算定している。</p>
<p>⑤一般競争入札方式（1者応札）（売買） 第441会計隊（座間） 「リアルタイム映像伝送装置」</p> <p>・リアルタイム映像伝送装置とは具体的にどのようなものか。</p>	<p>・ビデオカメラ等により撮影した映像を送・受信器材に取り込み、映像と音声をリアルタイムに圧縮し、ネットワークを介してそれぞれモニター等に表示できる装置で</p>

○委員からの  
意見・質問

○それに対する  
回答等

・落札者は他社製品を落札しているが、その理由は何か。

・本件は単純な物品の購入か。

ある。

・特定の製品を指定しているものではなく、仕様書の要件を満たすものであれば良いので、結果的に他社製品となったものである。

・そのとおりである。

⑥一般競争入札方式（1者応札）（役務）  
富士学校（富士）  
「富士総合火力演習輸送役務」

・40台以上のバスを準備するのは容易ではないと思われるが、落札者以外の業者でも参入できるのか。

・平成28年度に入札に参加し落札できなかった業者の入札金額は、落札金額とどのくらいの乖離があったのか。

・静岡市の業者が昨年度入札に参加したが、バスを現場に運行させるだけで多大な管理経費がかかる旨聞いている。

・二百万円以上の乖離があった。

⑦一般競争入札方式（1者応札）（役務）  
中央輸送隊（横浜）  
「平成29年度米国等における米海兵隊との実動訓練（その2）用装備品等の輸送」

<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>・横浜駐屯地においては、他に輸送役務の契約をしていると思われるが、過去に実績がないということはどのようなことか。</p> <p>・本入札は1者応札であるが、他の輸送役務の入札においても1者応札が多いのか。</p> <p>・横浜駐屯地において契約する輸送役務の範囲は、南関東防衛局管轄区域内か。</p>	<p>・本案件と同一の経路と期間においては輸送契約の実績がないということである。</p> <p>・本件に関しては、他の業者が船舶を準備できなかったために1者応札となったが、他の輸送役務においては複数応札になることが多い。</p> <p>・横浜駐屯地の中央輸送隊においては、南関東防衛局管轄区域内のみではなく、陸上自衛隊全般にかかる民間輸送、主に航路輸送について契約している。</p>
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	
<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>		
<p>談合情報件数</p>	<p>総件数 0件</p>	<p>(審議概要)</p> <p>・該当案件なし。</p>
<p>談合情報</p>	<p>0件</p>	
<p>点検結果疑義</p>	<p>0件</p>	
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>意見・質問</p> <p>なし。</p>	<p>回 答</p>
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>なし。</p>	
<p>3. 再苦情処理（再説明請求回答）</p>		
<p>再苦情申立件数 (再説明請求件数)</p>	<p>総件数 0件</p>	<p>(備考)</p>

一 般 競 争	0 件			
指 名 競 争	0 件			
随 意 契 約	0 件			
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意 見 ・ 質 問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし。			